世界銀行の気候投資基金に対する国際市民社会のステートメント（仮訳）

2008 年 6 月 5 日

潘基文（パン・ギムン）国連事務総長は全ての国に「国際的、共同的、包括的で低炭素アプローチによる成長と開発のためにまとまる」よう呼びかけました。公的資金は低炭素技術への移行を助長、支援するために重要な中心的役割を担え得るし、担うべきです。

我々、下記に署名した開発、環境、信仰、人権、地域、先住民族の権利の団体代表は、世界銀行の現在の気候投資基金(CIFs)設立のイニシアティブに反対します。

我々は、最初の提案を改善するべく努力がなされたこと(ガバナンス制度等)は認識していますが、同時に、世界銀行経営陣が、この国際的に重要性の明らかな課題に関して最低限のパブリックコメント期間しか設けず、しかも、英語のみでしか受け付けなかったことを警戒しています。このような国際市民社会からの意見の重要性を無視することは、残念なことに世界銀行を象徴し、我々の気候基金の実施に対する懸念の故であります。我々はさらに次の懸念を示します：

- **裕福な国々が圧倒的に気候変動に責任がある中、適応策に融資することは極めて不適切である。**今日我々が経験している気候変動の責任は圧倒的に、そして明らかに裕福な国（世界銀行ドナー国）にあるにもかかわらず、提案された気候適応パイロットプログラムが適応策に融資を行うと現在示唆されている。

- **世界銀行は気候基金の管理をする前に、エネルギー部門の融資の傾向に取り組まれなければならない。**残念ながら、そして有効な公的融資メカニズムが果たすべき移行的役割と大いに対照的に、世界銀行グループは国際的な気候的必要性に反した長期的エネルギー経路を固定するような形で希少な国際開発資金を使い続けている。それどころか、銀行グループがクリーンエネルギー投資枠組みを形成し気候変動との闘いを率いることを課された 2005 年グレンイーグル G8 サミット以来、化石燃料のための貸付は実際再生可能技術の増加を上回るペースで増えている。よって、財政的支援のすでに大きな不均衡を悪化させている。[1]一方で、2007 年 11 月 29 日に、ヨーロッパ議会は欧州投資銀行(EIB)及び輸出信用機関の化石燃料に対する融資の終焉を呼びかける決議を圧倒的多数で採択した。

- **クリーンテクノロジー基金（CTF）はクリーンテクノロジーを定義しておらず、**大規模石炭火力発電所に対する融資に大きく傾く多大な懸念がある。[2]「クリーンテクノロジー」の明確な定義なくして、また、根本的な変革が必要であるにもかかわらず、CTF は気候変動の明らかな緩和作用のない事業や、希少な資源を用いて最小限の改善にしかならないような事業を融資するために使われる可能性がある。気候変動対策のための公的基金は、例え多少の排出削減につながるとしても、炭素集約的な技術の助成に用いられるべきでない。クリーンは本当に「クリーン」でなければならず、「多少汚れの少ない」であってはならない。この格好の例として、最近の国際金融公社(IFC)による 4000MW の超臨界圧石炭火力発電所に対する 4 億 5000 万ドルの融資の承認がある。[3]

- **世界銀行のガバナンス制度は途上国政府が十分に包括されていない。**提案された CIF のガバナンス制度に対する改善が最近提案されたことを承知しているが、非民主的かつ透明性に欠けた機関においては、そのような改善では不十分である。機関としての世界銀行は、それが仕えると称する人々との根本的な信頼問題に苛まれている。したがって、世界銀行によって実施される全てのイニシア

---

[1] 世界銀行の化石燃料採掘支援は 2005 年度から 2006 年度にかけて 93%増えた。世界銀行グループの民間企業への貸与を担う国際金融公社(IFC)は 05-06 年度にかけて石油だけで 75%以上支援を増加させた。現在の世界銀行グループの電力を含む化石燃料支援は 05 年度に比べて 42%以上増加した。世界銀行の再生可能物と効率に対する支援も増加しているが、化石燃料のそれに及ばず、銀行自身の見積りによると 28-40%である。よって、財的支援の格差は広がっており、市場に完全に間違ったシグナルを送っている。

[2] "Proposal for a Clean Technology Fund," April 29, 2008, Rev. 1 の Annex A, p. 14 に次のようにある：「CTF による融資は次の一つ以上の移行投資に当てられ得る：」…「(iii)相当なエネルギー効率改善となる既存の最高の燃料技術を取り入れることで相当量の温室効果ガス削減を達成する；(iv)炭素吸収と貯蔵技術の導入用意の支援」…

[3] IFC の理事会によって 2008 年 4 月 8 日に Tata Mundra Ultra Mega に対する 4 億 5000 万ドルの融資が承認された。

ティブは、楽観的に見ても深い疑念を乗り越えるために全力を尽くさなければならず、悲観的には実施機関の評判の犠牲になり、効果をあげられなくなるだろう。

- **世界銀行のイニシアティブは国連気候変動枠組条約(UNFCCC)を弱体化し得る。**提案された基金は、共通だが差異ある責任の下に、国際的な合意に基づいて行われるべき資金提供を転用する可能性がある。2007 年にバリで開かれた締約国会議において設立された UNFCCC 適応基金はすでに第一回会議を開き、前進している。しかしながら、適応基金は、CDM からの基金以上の追加的な資金提供を必要とするだろう。適応基金に回されたかもしれないこの追加資金は現在世界銀行に回っている。

- **途上国における気候変動対策を目的にしたクリーンエネルギー基金は贈与にすべきである。**世界銀行は現在、「クリーン」エネルギーテクノロジーに対して贈与と貸与の両方を提案している。気候基金は、少なくとも、従来のテクノロジーと途上国のクリーンディベロップメントを後押しする真のクリーンテクノロジーの価格差に相当する贈与を提供すべきである。このような政策は、真にクリーンな再生可能技術のために「ハンディをなくす」ことに資するだろう。

- **途上国の気候変動対策のための資金提供は明らかに、**GDP の 0.7%という長年の政府開発援助（ODA）のコミットメントの**追加的措置でなければならない。**

- **途上国はすでに多大な懸念を表している。**バンコクで開催された長期協力のための UNFCCC 作業部会の中で、G77 と中国は世界銀行の気候投資基金を批判した。途上国各国もまた、世界銀行のイニシアティブが UNFCCC での自分たちの努力を台無しにしていると警戒感を明らかにした。

我々は気候変動への早急な行動が迫られていると信じている。しかしながら、現在の性急な CIF 設立は、死活的で広い環境と開発の利益を促進し、気候変動に対処するのに必要な持続可能な移行を後押しすることに失敗するトップダウンの基金を創設することにつながりかねない。

歴史的に脆いこの時期に、世界銀行に主導された気候投資基金を推し進めることは、国際社会における信頼を著しく損ねかねない。したがって、

我々は、前述の懸念が全て根本的な解決をみるまでは、先進国政府が世界銀行のイニシアティブの立ち上げを支援しないように要請します。

我々はまた、途上国政府が、我々の懸念に関心を払い、ドナー国、世界銀行、その他の関係機関に対してそれらの懸念を示すことを求めます。

署名者:

Argentina
Amigos de la Tierra

Australia
Friends of the Earth Australia

Bangladesh
BanglaPraxis
Community Development Library (CDL)

Belarus
IPO "Ecoproject Partnership

Belgium
Coalition of the Flemish North-South Movement
Friends of the Earth Flanders & Brussels

Brazil
AGAPAN, Associação Gáucha de Proteção ao Ambiente Natural
Esplar - Centro de Pesquisa e Assessoria
Rede Brasil sobre Instituições Financeiras Multilaterais

Cameroon
Centre pour l'Environnement et le Développement

Canada
KAIROS: Canadian Ecumenical Justice Initiatives

Denmark
DanChurchAid
NOAH, Friends of the Earth Denmark

EU
CEE Bankwatch Network

Germany
GENDERCC - Women for Climate Justice
SÜDWIND e.V.
Urgewald
World Economy, Ecology & Development (WEED)

Honduras
Movimiento Madre Tierra Honduras, Member of ATALC
Movimiento Madre Tierra, Friends of the Earth Honduras

India
Bharatiya Krishak Samaj (Indian Farmer's Organization)
Indian Society for Sustainable Agriculture and Rural Development

Indonesia
Anti Debt Coalition Indonesia (KAU)
Association of Prison Ministries (APM)
Indonesian Foundation of Education and Self-Reliance (YPSI)
INFID (International NGO Forum on Indonesian Development)
Institute for Essential Services Reform (IESR)
Jakarta Christian Communication Forum (FKKJ)
Kalikasan-People's Network for the Environment (Kalikasan-PNE)
Law Enforcement Watch (LEW)
Pantau Foundation- Indonesia
Perhimpunan Solidaritas Buruh (Association of Workers Solidarity)
Wahana Lingkungan Hidup Indonesia WALHI/Friends of the Earth
INSIST (Yogyakarta)

International
ActionAid International
Eco Equity
Friends of the Earth International
Greenpeace International
Jubilee South - Asia/Pacific Movement on Debt and Development
Solidarity Workshop

Italy
Coopi Lazio
Fair
Legambiente
Lunaria
Intersos
Tavola della Pace
Terra Nuova
Un Ponte Per
VIDES International
Campagna per la riforma della Banca Mondiale (CRBM)

Kazakhstan
BAITEREK

Kyrgyzstan
Ecological Movement "BIOM"

Malaysia
Friends of the Earth Malaysia
Third World Network

Nepal
Least Developed Country Watch
Rural Reconstruction Nepal
South Asia Alliance for Poverty Eradication

Netherlands
A SEED
MAID (Management Projects for Individual Empowerment and Democratic Development)
Milieudefensie (FoE)

Nigeria
Environmental Rights Action

Norway
Friends of the Earth Norway
Norwegian Church Aid (NCA)
SLUG (Norwegian Campaign for Debt Cancellation)

Papua New Guinea
Center for Environmental Law & Community
The Papua New Guinea Eco-Forestry Forum
Rights Inc. (CELCOR)/Friends of the Earth

Peru
ECOVIDA
Instituto Ambientalista Natura

Philippines
Center for Environmental Concerns-Inc
Climate Action Network Southeast Asia (CANSEA)
Kalikasan-People's Network for the Environment
NGO Forum on the ADB
Philippine Network on Climate Change (PNCC)
Philippine Rural Reconstruction Movement (PRRM)
The Freedom from Debt Coalition (FDC)

Portugal
Quercus-Associação Nacional de Conservação da Natureza

Romania
Foundation TERRA Millennium III

Russia
Biodiversity Conservation Center
Center for Assistance to Environmental Initiatives
Counterpart for Development Association
Assessment Center ECOM (St. Petersburg)
Society of Naturalists

Serbia

Center for Ecology and Sustainable Development (CEKOR)

Slovakia
Friends of the Earth-CEPA

South Africa
Centre for Civil Society Economic Justice Project University of KwaZulu-Natal

South Korea
KFEM/Friend of the Earth South Korea

Spain
Xarxa de l'Observatori del Deute
en la Globaltización

Switzerland
Alliance Sud

Tajikistan
Foundation to Support Civil Initiatives
Youth Ecological Centre of Tajikistan

Timor Leste
Haburas Foundation
La'o Hamutuk (Timor Leste Institute of Development Monitoring and Analysis)
Luta Hamutuk Institute

Togo
Jeunes Volontaires pour l'Environnement-International

UK
Bretton Woods Project
Christian Aid
Down to Earth: the International Campaign for Ecological Justice in Indonesia
Plan B
Platform
The Forest Peoples Programme
The New Economics Foundation

Ukraine
Nikolaev Club for Promotion of the Sustainable Development and Civil Society "Joint Action"
Black Sea Women Club
Ecoclub
National Ecological Centre of Ukraine
Ukrainian Children's Union "Ecological Guard"

USA
Amazon Watch
Circle the Earth
Crude Accountability
Friends of the Earth US
International Accountability Project
International Forum on Globalization
International Rivers
Jubilee USA Network
Oil Change International
Rainforest Action Network (RAN)
Sustainable Energy and Economy Network